

# 佐事研だより

佐賀県公立小中学校事務研究会  
編集発行人 会長 井手 和久

会員各位

向暑の候、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今号は、佐事研の新会長である、井手統括事務長にインタビューをいたしました。これからの佐事研について、井手会長のビジョンをお伝えします。



**新会長  
井手 和久  
統括事務長**

昭和 33 年 9 月 9 日生。

昭和 59 年に唐津市立鏡山小学校に赴任。

鏡山小に 9 年勤務後、佐志小→値賀中→仮屋小→唐津第一中→佐志小→鹿島小と異動。

現在は唐津市立海青中学校で統括事務長をされています。

・お住まい

唐津市(近くに八坂神社があり、西郷隆盛の像が祭られています。)

・趣味

農業(玉ねぎ、トマト、キュウリ、ゴーヤを栽培)

登山、ヨット、スキー(大学では、「自然スポーツ愛好会」に所属)

・家族

ご両親、奥様、娘さん2人(ドイツ在住)と息子さん1人、犬 4 歳

**愛犬のハッチャンです!**



## 今年度の佐事研の目標を教えてください！

会員全員が、安心して、そして精一杯職務を遂行できるような環境を作ることです。そうすることで、今よりさらに、義務制学校事務職が、魅力ある、やりがいのある仕事となることを目指します。

佐事研が、この目標を達成するために、自分は以下の3点を心がけて企画運営をしています。

- ① 普段、地区で離れている学校事務職の仲間との出会いの場を提供することで、お互いの熱を伝え合う。
- ② 全国から最高の知を持つ講師を招へいし、講演をしてもらうことで、会員が自ら気づき、考え、行動するチャンスを作る。
- ③ 佐事研というスケールメリットを生かして、市町の壁を越えた解決策を提示する。

そして、私たちは実務家でもあるから、即効性のある職場支援も大事にしたいですね。例えば、佐事研 HP の「知恵袋」のようなコンテンツをもっと充実させていきたいと考えています。



会長はアウトドアが趣味  
ハンググライダーも操ります。

## 任用一本化についてはどう思われますか？

今回の任用一本化は、学校事務組織が活性化するチャンスだよ。

様々な背景を持った人材が学校事務職に新たな風を吹き込んでくれると思っています。

ここで大事なことは、佐事研に限らず、地区事務研や共同事務室内で、任用一本化後の職員の意見を真摯に聞き、また検討するということ。そうすることで新しい問題解決案が生まれてきます。この成功サイクルを学校事務職としての限られた時間で回すことで、学校をより愛し、結果学校事務職への理解が深まると思います。

そして、その人たちがもし異動したときは、その新しいフィールドから佐賀県の教育をサポートしてくれませう。

そうしたダイナミックな未来を実現させるために、佐事研では、任用一本化に対応した人材育成プランとそれに沿ったキャリアラダーを提案していくよ。

## 今、佐賀の学校事務職 での課題は何ですか？

これは、市町による財務規則の違いに尽きると思っています。簡単に言うと、市町によって学校に決裁権がある予算費目や金額に違いがあるってことだよ。

皆さんも同僚と話していて違和感を覚えたことはないでしょうか？例えば、校舎の窓ガラスが一枚割れたとする。そのとき、ある市町では、学校に補修費の決裁権があり、すぐに対応ができる。しかし別の市町では、地教委しか補修費の決裁権がないために、対応するのにかなりの時間がかかってしまう。

また、別の観点、人材育成という面でも弊害が出てきます。それは、市町の決裁権の違いが、学校事務職員の仕事の幅に多大な影響を及ぼすからです。結果、仕事の種類によっては、ある人は精通しているが、別の人は経験もしたことがないというケースが出てきます。

この市町の財務規則の違いについて、佐事研や事務長会でも解決策を検討しています。ただ、財務規則は、どうしてもその市町の予算の特色に沿ったものになるから、解決には時間がかかりそうです。

しかし、この問題は決して外せない。佐事研や地区事務研、会員全員で解決をしていきたいです。



会長21歳のころ  
北アルプス(槍ヶ岳)の山頂  
にて

会長いわく  
山の良さは「どっしりと動かないところ」だそうです。

## 最後に会員の皆さんに メッセージを！！

では、シンプルに言います。

佐事研は、みんなが笑顔で仕事をできるように応援します。

仕事というものは、大変なだけではなく、それを通じて、それぞれが幸せになるものです。そして、その仕事というのは私たちの使命である、教職員の職場環境を改善し、子どもたちが安心して学べる学校を作ることです。この基本のことを佐事研は全力でサポートいたします。

それでは、新会長として精一杯がんばります。人材を育成し、結果、組織も活発になる、そんな佐事研をみんなで作りましょう。

会員の皆様、よろしくお願ひしますね！

### 編集後記

今回のインタビューは、情報推進部長の今村でした。印象的だったのは、井手会長はとても聞き上手だなあと感じたことです。あっという間に時間が過ぎてしまいました。では会長、お体に気をつけて、みんなでがんばっていきましょう！！

